

塗布技術研究会合宿討論会 シミュレーショングループ 議事録

1. 乾燥シミュレーションを主に行っている。
    - ・乾燥帯の予測を行い設備設計に生かしたい
    - ・IRでの発泡挙動の予測と可視化が難しい
  2. 乾燥挙動の可視化について
    - ・塗膜の表面 Temp を観察している。
    - ・シミュレーションと実現象の整合性は熱風 Temp と基材 Temp で評価している。
    - ・Wet と Dry での重量比にて乾燥評価している。～薄いものの評価が？
    - ・ガス濃度による乾燥帯の評価はどうか？
  3. 実験機を基に生産機に生かす方法がよいのでは？
    - ・減率乾燥帯で IR を使っている。
    - ・IRのほうが剥離強度が高い？
  5. 乾燥表面の評価方法は？
  6. 粒子分布のシミュレーションを行いたいが、出来ていない。
  7. 乾燥による基材搬送について。(安定走行、バツキ)
    - ・基材安定走行が乾燥安定につながる。
    - ・物性パラメータをつくるなど
  8. 塗布後の粒子分布が悪いのか、乾燥後の粒子分布が悪いのか？
    - ・塗布時のダイのキャビティ、マニホールドの設計で沈降を防ぐことが出来るのでは
  9. 塗布と乾燥の粒子分布の評価方法について
    - ・インダクターと粒子の物質移動等の数値をシミュレーションに落とし込めるのか？～現在やっている方はいる
      - ・物理モデルで検証はしているが・・・
- 1 1. シミュレーションのままでは怖い、実現象との可視化が必須。
  - 1 2. 材料設計と乾燥挙動の観察が必要
  - 1 3. シミュレーションの物性値へのアプローチの仕方⇒拡散係数など、濃度別に検証しては。